

## ベストプラクティス企業の紹介

11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、福岡労働局長が、11月16日（水）に長時間労働の削減・男性の育児休業取得促進等に積極的に取り組む『株式会社タカギ』を訪問しました。

### 株式会社タカギ 概要

本社所在地：北九州市小倉南区石田南2-4-1  
北九州オフィス：北九州市小倉北区京町3-1-1  
セントシティ9F  
代表者氏名：代表取締役会長 高城寿雄  
資本金：9千8百万円  
労働者数：計1,325名  
（男性：651名、女性：674名）  
売上高：306億円（2021年度）  
事業内容：  
家庭用園芸用品、家庭用浄水器、省エネ商品の開発、  
製造、販売、プラスチック射出成形加工・金型事業

### 働き方改革に関する 主な取組内容

「ダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクト」を発足（ ）

- ・両立支援制度の窓口設置
- ・「育トレ制度」の創設
- ・育児短時間制度の見直し
- ・「キャリア自己申告制度」を創設

（詳細は裏面へ）

### ダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクト とは

多種多様な働き方を推進できるよう、人事課を事務局とする部署横断的な組織として2020年に発足。これにより、ボトムアップによる積極的な施策立案を可能に。

### 安達福岡労働局長、高城代表取締役社長、笠井常務取締役、岡村総務人事部長との対談



#### 【高城代表取締役】

創業理念である「皆が楽しく働ける職場を提供する」を大事にしています。長時間労働等は、楽しいものではありません。社員の思いと経営者の思いを両立できるように風通しの良い職場づくりに努めました。

#### 【笠井常務取締役・岡村総務人事部長】

長時間労働抑制のため、まずは会議のあり方や決裁の流れ等、業務の見直しを徹底しました。あわせてデジタル化の推進を進め、RPAの導入やテレワークの推進等を行いました。

同時に意識改革にも力を入れることで、長時間労働への抵抗感を強め、休暇の取得（男性の育児休業）やフレックスタイム制の活用を推奨しました。

結果として、時間外労働時間について25h/月から15h/月まで減少しました。

ダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクトを起点として、より働きやすい職場づくりを目指しています。

## 働き方改革に関する主な取組内容

### 両立支援制度の窓口設置

仕事と家庭の両立支援のサポートを目的として社内に相談窓口を設置。働く方々にとって寺子屋的存在に。

### 「育トレ制度」の創設

男性の育児参画を応援するための支援制度。既存の育休制度では収入の減少が伴うため、育休期間をすべて有給化へ。初年度（2021年）対象者の75%（21人/25人）が取得。

### 育児短時間制度の見直し

育児短時間制度の取得期間について「子が小学生まで」から「子が小学4年生まで」に延長。

### 「キャリア自己申告制度」を創設

社員の自律的、主体的なキャリア形成を目的とする「キャリア自己申告制度」を創設。（2023年4月から制度採用）

## 環境整備に関する主な取組内容



オートメーション化

働き方を見直し、業務に様々なデジタル化やオートメーション化を推進。RPAの導入やテレワークの導入等により業務効率化を図る。

様々な制度を創設・取組を行う中で幹部や社員の働き方（労働時間）に対する意識改革を実現。

工場に隣接する形で託児所を設置し、子育て世代をサポート。

北九州オフィスには、カフェスペースやマッサージチェアを設置し、働きやすい環境整備を行っている。



マッサージチェア



カフェスペース



託児所の設置

## ダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクト構成員との意見交換



### 【福岡労働局長】

このプロジェクトに参画した経緯、目的を教えてください。

### 【プロジェクト構成員】

- プロジェクトのメンバーは毎年公募で選ばれています。あらゆる目線からの意見を集約することが目的のため、基本的に希望したすべての方に参画いただいています。
- 「今の立場から見て、会社をより良くする」ことを目指し、本業を兼ねながら定期的に活動をしています。
- 「育トレ制度」もプロジェクトからの発案です。多様性が求められる時代ですが、会社も気持ちよくスムーズに対応できるよう、このプロジェクトチームの果たす役割は大きいと思っています。